

■ 使用許諾条件 ■

本ソフトウェア（以下、提供ソフトウェアといいます。）の使用許諾条件は、以下に記載するとおりです。

1. 提供ソフトウェアの著作権は、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社（以下、富士フィルムビジネスイノベーションといいます。）ならびに原権利者に帰属します。
2. 提供ソフトウェアは、対応する富士フィルムビジネスイノベーション製品（以下、対応製品といいます。）を利用する目的で対応製品を購入した国内においてのみ使用することができます。
3. 提供ソフトウェアを使用するにあたっては、富士フィルムビジネスイノベーションが明示する注意制限事項等（以下、注意制限事項等といいます。）を遵守してください。
4. 提供ソフトウェアの全部または一部を修正、改変し、またはリバースエンジニアリング、逆コンパイルあるいは逆アセンブル等により解析することを禁止します。
5. 提供ソフトウェアを通信回線を利用し頒布すること、フロッピーディスク、磁気テープ等の他の媒体に複製し第三者に譲渡、販売、貸与、使用許諾することを禁止します。
6. 富士フィルムビジネスイノベーション、富士フィルムビジネスイノベーションの販売会社、特約店および提供ソフトウェアの原権利者は、提供ソフトウェアを注意制限事項等で特定する以外の機器あるいはプログラムと組み合わせること、また提供ソフトウェアを改変することに起因して生じた損害、損失等に関し責任を負うものではありません。
7. 富士フィルムビジネスイノベーション、富士フィルムビジネスイノベーションの販売会社、特約店および提供ソフトウェアの原権利者は、提供ソフトウェアに関し何らの保証責任および賠償責任を負うものではありません。

以上

=====
=====
Multi-model Print Driver 2 Ver.2.7.21 補足情報
=====
=====

本ドライバーに関する次の6項目について記述します。

- 1.前提条件
- 2.インストール方法

- 3.本ソフトウェアバージョンでの改善点
 - 4.注意事項
 - 5.本ドライバーに関する制限事項について
 - 6.ソフトウェアのアップデート
-

1.前提条件

1.本ドライバーは、次のOSが稼動しているコンピューター上で機能します。

Microsoft(R) Windows(R) 10 64ビット版
Microsoft(R) Windows Server(R) 2016
Microsoft(R) Windows Server(R) 2019
Microsoft(R) Windows(R) 11
Microsoft(R) Windows Server(R) 2022
Microsoft(R) Windows Server(R) 2025

最新のOS対応状況につきましては、下記のURLを参照してください。

<https://fujifilm.com/fb/download/defacto>

また、本ドライバーから出力可能なプリンター機種については、

<https://fujifilm.com/fb>

にて、ご確認いただけます。

2.本ドライバーの削除などを行う各種ツールを添付しています。これらのツールについては、
[EzInst¥Readme.htm](#)を参照してください。

2.インストール方法

FF Multi-model Print Driver 2のインストール、アンインストール手順について以下に説明します。

※注意

- ・ドライバーをインストールする前に、全ての動作中のアプリケーションを終了させてください。
- ・ドライバーのアップデートをし終えたら、インストール後、必ずコンピューターを再起動してください。
- ・プリンタードライバーの古いバージョンを削除したら、新しいバージョンをインス

トールする前に、必ずコンピューターを再起動してください。

2.1 インストール

- (1) Windows メニューから[設定]画面を開き、[プリンターとスキャナーの追加]を開きます。

Windows 11:

[設定] > [Bluetoothとデバイス] > [プリンターとスキャナー] >
[デバイスの追加]

Windows 10,Server 2016/2019/2022/2025:

[設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー] >
[プリンターまたはスキャナーを追加します]

- (2) [プリンターの追加]ウィザードを開きます。

Windows 11:

[手動で追加]をクリックします。

Windows 10,Server 2016/2019/2022/2025:

[プリンターが一覧にない場合]をクリックします。

- (3) プリンターの接続形態を指定します。

*ネットワークプリンターの場合

Windowsが表示するメニューに従ってネットワーク上からプリンターを指定します。

プリンターの指定に際してはネットワーク管理者にご相談ください。

すでに他のプリンターがインストールされている場合、これからインストールする
プリンターを通常使うプリンターとするかを尋ねるメッセージが表示されます。

通常使うプリンターとする場合には[はい]を指定します。

手順8)に進んでください。

*ローカルプリンターの場合

Windowsが表示するメニューに従ってローカルプリンターを指定します。

- (4) 出力ポート(プリンターポート)を指定します。

出力ポートがない場合、ポートを作成します。

- (5) プリンターのモデルを選択します。[ディスク使用(H)...]をクリックすると、

[フロッピーディスクからのインストール]ダイアログボックスが表示されます。

ドライバーファイルが保存されているフォルダーを指定します。

フォルダーにあるINFファイルを選択し、[OK]をクリックします。

- (6) ダイアログボックスに「FF Multi-model Print Driver 2」が表示されます。

[FF Multi-model Print Driver 2]を選択し、[次へ]をクリックします。
指定したプリンターが既にインストールされている場合、新しいバージョンのドライバーに置き換えるかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。
新しいバージョンのプリンタードライバーをインストールする場合には、[現在のドライバーに置き換える]を選択してください。
この時、アプリケーションなどにより古いバージョンのドライバーが使用されていると、古いバージョンのドライバーが削除できません。
この場合は、古いバージョンのドライバーを使用しているアプリケーションを終了させてください。

- (7) プリンター名を設定するためのダイアログボックスが表示されます。
プリンター名を変更するには、[プリンター名]ボックスにプリンターの名前を入力します。
- (8) [ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示され、「プリンタードライバーソフトウェアのインストール」の続行をするかどうか訊ねてきます。
[続行]をクリックすると、インストールが開始されます。
- (9) インストール後の印字テストを行うかどうかを指定するためのダイアログボックスが表示されます。
印字テストを行う場合は、[テストページの印刷]ボタンをクリックします。
印字テストを行わない場合は、[完了]をクリックします。

2.2 アンインストール

- (1) Windows メニューから[設定]画面を開き、プリンター一覧を開きます。
Windows 11:
[設定] > [Bluetoothとデバイス] > [プリンターとスキャナー]をクリックします。
Windows 10, Server 2016/2019/2022/2025:
[設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー]をクリックします。
- (2) 削除するプリンターアイコンを選択して削除します。
Windows 11:
[プリンターとスキャナー] > 削除するプリンタアイコン > [削除]をクリックします。
Windows 10, Server 2016/2019/2022/2025:
[プリンターとスキャナー] > 削除するプリンタアイコン > [デバイスの削除]をクリックします。
- (3) プリントサーバーのプロパティを開きます。

[プリンターとスキャナー] > 関連設定の[プリントサーバープロパティ]をクリックします。

- (4) [プリントサーバーのプロパティ]画面が表示されるので、[用紙設定の変更]ボタンをクリックします。
- (5) [ドライバー]タブから削除するドライバーを選択し、[削除]ボタンを押下します。
- (6) [ドライバーとパッケージを削除する]を選択し、[OK]ボタンを押下します。
- (7) ドライバーが使用中の場合、メッセージが表示されてドライバーパッケージが削除できないことがあります。この場合、再起動後に再度削除を実施してください。
- (8) 再起動します。

2.3 アップデート方法

既に FF Multi-model Print Driver 2 がインストールされている環境での、FF Multi-model Print Driver 2 のアップデート手順を以下に説明します。

- (1) Windows メニューから[設定]画面を開き、プリンター一覧を開きます。
Windows 11:
[設定] > [Bluetoothとデバイス] > [プリンターとスキャナー]をクリックします。
Windows 10, Server 2016/2019/2022/2025:
[設定] > [デバイス] > [プリンターとスキャナー]をクリックします。
- (2) プリントサーバーのプロパティを開きます。
[プリンターとスキャナー] > 関連設定の[プリントサーバープロパティ]をクリックします。
- (3) [プリントサーバーのプロパティ]画面が表示されるので、[用紙設定の変更]ボタンをクリックします。
- (4) [ドライバー]タブにて、[追加]ボタンをクリックします。
- (5) [プリンタードライバーの追加ウィザード]が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックします。
- (6) 設置するプロセッサのチェックが入っていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
- (7) [ディスク使用]ボタンをクリックし、ドライバーファイルが保存されているフォルダーを指定し、INFファイルを選択して[OK]をクリックします。

(8) インストールするドライバーを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

(9) [プリンタードライバーの追加ウィザード]の[完了]ボタンをクリックします。

[プリントサーバーのプロパティ]画面にて、[OK]をクリックします。

再起動します。

3.本ソフトウェアバージョンでの改善点

[Ver 2.7.15からの改善点]

- ARM64版Windows向けのドライバー追加に伴い、バージョンを更新しました。

[Ver 2.7.12からの改善点]

- メタファイルスプール時に、特定条件で部数の指定が正しく反映されない現象を改善しました。

[Ver 2.7.8からの改善点]

- 機種専用プリンタードライバーをインストールした際に下記の設定項目が初期化される現象を改善しました。

認証管理

セキュリティプリント

ジョブ終了のメール通知

お気に入り

スタンプ

合紙位置

余白

本バージョンのドライバーをバージョンアップインストールした場合は、他のドライバーをインストールしたり、他のドライバーの[印刷設定]を開く前に、本バージョンのドライバーの [印刷設定]を一度開いて閉じてください。

[Ver 2.7.4からの改善点]

- Windows 11 バージョン22H2 以降の環境で、アプリケーションから本ドライバーのプロパティを開いてから印刷すると、アプリケーションが固まることがある現象を改善しました。
- 「プリンター本体から情報を取得」する際の追加設定に対応しました。

[Ver.2.7.0からの改善点]

- 針なしホチキスに対応しました。

4. 注意事項

- * アプリケーションによっては、部数や丁合いなどの印刷オプションが設定できます。特にアプリケーションからの指示が無い限り、アプリケーションの印刷オプションを選択してください。
両面印刷、サンプルプリント、またはアプリケーションで対応できない詳細設定をする場合は、プリンタードライバーのダイアログで行ってください。
- * プリンタードライバーの初期設定をコントロールパネル上で変更する場合は、必ずプリンタードライバーのダイアログおよびアプリケーションのプリントダイアログを閉じてから行ってください。
- * 丁合い印刷でオフセット排出がうまく機能しない場合は、アプリケーションの[丁合い]オプションを選択せず、プリンタードライバーの[丁合い]チェックボックスにチェックを入れると改善されることがあります。
- * ネットワークを介してインストールする場合、「プリンター」フォルダーを右クリックし、メニューの「管理者として実行」から「プリンターの追加」を選択すると、プリンターアイコンが生成されないことがあります。
- * プリンターアイコンの名前を変更する場合は、OSのファイル命名規則に従う必要があります。記号か特殊文字を使用すると、名前変更のエラーや予期しないプリンタードライバーの動作を引き起こすことがあります。
- * Windowsクラスター環境でプリンタードライバーをインストールする場合、クラスター環境の各ノードにドライバーをインストールしておく必要があります。

5. 本ドライバーに関する制限事項について

◇本ドライバーと ApeosWare Management Suite 2 を組み合わせて利用する際、ApeosWare Management Suite 2 のアップデートが必要になる場合があります。
弊社 ApeosWare Management Suite 2 の公式サイト サポート情報をご確認ください。

◇共有プリンターでの動作について

共有プリンター環境で次の現象が発生した場合、「クライアントコンピューターで印刷ジョブのレンダリングをする」の値を変更することにより、正しく印刷される場合があります。

- ・ヘッダー、フッター、スタンプを指定しても正しく印刷されない
- ・認証設定が正しく反映されない、もしくは認証のポップアップが表示されない

* パターンや図形、色の濃さ、余分な線が入るなど、印刷結果が画面と異なる場合、

次の設定を変更することで改善する場合があります。

- [グラフィックス]タブの[印刷モード]を変更する。
- [詳細設定]タブの[イメージの高速処理]を[しない]に設定する。
- [詳細設定]タブの[パターンを解像度にあわせて描画]を[する]に設定する。
- [詳細設定]タブの[プリンタードライバーの解像度]を変更する。
- [詳細設定]タブの[白黒多階調印刷]の設定を変更する。

* 白紙の挿入について

[メタファイルスプール]に[する]を指定し、奇数ページの原稿を[両面]指定で印刷すると、アプリケーションやOSによっては、末尾に白紙が挿入される場合があります。

* アプリケーションによっては、[印刷モード]が[高精細]か[高画質]、またはプリンタードライバーの解像度が[600dpi]、[ページ印刷モード]が[する]の場合、データサイズが膨大になり、正しく印刷されないことがあります。そのような場合には、次の設定を行ってください。

- [グラフィックス]タブにある[印刷モード]を[標準]に、もしくは[詳細設定]タブの[その他の設定(グラフィックスの詳細設定など)]にある[プリンタードライバーの解像度]を[300dpi]か[200dpi]に設定する。

* アプリケーションによっては、貼り付けたイメージが高解像度で出力され、印刷データが膨大になり印刷スピードが極端に遅くなる場合があります。

[詳細設定]タブの[その他の設定(グラフィックスの詳細設定など)]にある次の設定を変更することで、出力する印刷データサイズが改善する場合があります。

- [詳細設定]タブの[その他の設定(グラフィックスの詳細設定など)]にある[イメージ圧縮]を[標準]に設定するか、[プリンタードライバーの解像度]を[300dpi]か[200dpi]に設定する。

* Microsoft Visio のアプリケーションから印刷する場合、印刷前に[印刷モード]を[標準]から[高精細]に、またドライバー解像度を変更すると、データが縮小され左上角に印刷されることがあります。これはアプリケーションを起動する前に、[グラフィックス]タブから[印刷モード]を[高精細]に設定しておくことで回避できます。

* 用紙トレイ選択を自動に設定して印刷を実行する場合、自動給紙機能を有効にするために、アプリケーションの用紙サイズは必ずドライバーがサポートする用紙サイズに設定してください。

* プリンタードライバーのプリント領域を超える文書を印刷する場合、[まとめて1枚]とプリント領域の[標準]が選択されていると、印刷結果が重なり合ってしまうことがあります。そのような場合は、[レイアウト]タブの[とじしろ/プリント位置]にある

[プリント領域]ダイアログで[拡張]を選択すると、回避できる場合があります。

- * お客様が利用されるアプリケーションによっては、両面印刷で出力する場合、部数指定などの条件により、自動的にページ調整の白紙が挿入されることがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力はカウントアップの対象となります。これは次の設定を変更することで改善することができます。
 - [詳細設定]タブにある[白紙節約]をチェックする。ただし、文書の印刷レイアウトが変更されてしまう場合があります。

◇白紙節約について

白紙節約を設定して印刷しても以下の場合には白紙ページが出力されることがあります。

- ・ページ内に改行のみが存在する場合
- ・ページ内にスペース(空白)のみが存在する場合
- ・ページ内に改行およびスペースのみが存在する場合
- ・その他、アプリケーションから白い背景描画命令などが渡された場合

* Microsoft Windows Server クラスター環境をお使いのお客様へ

<1> クラスター環境上でユーザー定義用紙を設定する場合は、クラスター環境の全物理ノードで共通の設定をしてください。

<2> 「プリンター本体から情報を取得」ボタンを押した際、「プリンター検索」ダイアログが表示された場合は、プリンターのネットワークアドレスを入力してください。

<3> クラスター環境でドライバーを削除する場合は、仮想サーバーのドライバーを削除した後、各スタンバイノードのドライバーを削除してください。

※スタンバイノードのドライバーを削除する場合

- (1)スタンバイノードを、アクティブノードに変更します。
- (2)仮想サーバーにプリンターをインストールします。
- (3)仮想サーバーのドライバーを削除します。

※ドライバーを削除する場合

プリンターアイコンを削除した後、「サーバーのプロパティ」からドライバーを削除してください。その後、コンピューターを再起動してください。

* [認証情報の設定]ダイアログの[キャンセル]ボタン

アプリケーションによっては、[認証情報の設定]ダイアログで[ジョブごとに認証の入力画面を表示する]の設定をして印刷する場合、認証情報のポップアップダイアログをキャンセルすると、警告ダイアログが表示されることがあります。この警告ダイアログは、プリンターのエラーを表すことがあります、実際のプリントには問題はありません。

この場合、警告は無視して続けてください。

* メタファイルスプールに関する機能制限

[詳細設定]タブの[メタファイルスプール]を[する]に設定した場合、以下の機能が正常に動作しないことがあります。これらの機能を使用する場合は、[メタファイルスプール]を[しない]に設定してください。

- [セキュリティプリント]、[サンプルプリント]、[時刻指定]
- [認証管理する]、[認証情報の設定]
- [ジョブ終了をメールで通知]
- [表紙／合紙付け]の[合紙付け]
- [アプリケーションからの拡張機能]
- [余白を指定する]

* ユーザー定義用紙の設定を変更するためには、管理者権限が必要です。

Windows 10以降では、[デバイスとプリンター]フォルダからプリンターを選択し、プリンターのプロパティを選択し、[共有]タブから[共有オプションの変更]ボタンを押してください。

その後、ユーザー定義用紙の設定を行ってください。

* デフォルトのFirewall設定では、サブネットを越えたブロードキャストでの検索ができません。サブネットを越えて使用する場合は、ブロードキャストを使用せず、直接アドレスを指定してください。

* [スタンプ]機能

[詳細設定]タブの[メタファイルスプール]が[しない]に設定されている場合、

32ビットアプリケーションでは[スタンプ]機能が無効となります。

この機能を使用するには、[メタファイルスプール]を[する]に設定してください。

* ヘッダー/フッター印刷

[詳細設定]タブの[メタファイルスプール]が[しない]に設定されている場合、

[ヘッダー/フッター印刷]機能は無効となります。この機能を使用するには、

[メタファイルスプール]を[する]に設定してください。

* ネットワーク共有フォルダーにあるプリンタードライバーのインストールファイルを指定したインストールが正常に終了しないことがあります。

その場合は、ローカルフォルダーにインストールファイルをコピーしてインストールすることをお勧めします。

* [プリンター構成]タブの[プリンター本体から情報を取得]機能において、一部の機種で正しくプリンター構成を更新できない場合があります。その場合は、手動にて設定してください。

- * 標準設定の場合、[白黒多階調印刷]の設定がオンになっておりますが、機種専用ドライバーはオフになっている機種もあります。そのため、[カラーモード]設定を[白黒]で印刷した場合、[白黒多階調印刷]の標準設定がオフになっている機種専用ドライバーと比較して、灰色の濃淡に差が出る場合があります。
- * 機種専用のドライバーと比較した場合、文字や線の太さ、又は模様の密度等に差が出る場合があります。
- * 機種専用のドライバーと比較した場合、画質処理の方法の違いより、色合いが変わる、線が入る、段差が発生するなど差異が生じる場合があります。その差異が支障をきたす場合は、機種専用ドライバーをご使用ください。
- * フォントの設定が、内部的に[常にTrueTypeフォントを使う]で固定されているため、変更ができません。そのため、機種専用ドライバーで[TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換える]設定にした場合と比較して、文字の太さや形状等で差が出る場合があります。
その差異が支障をきたす場合は、機種専用ドライバーをご使用ください。
- * 一部の機種では、セキュリティプリント、サンプルプリント、時刻指定プリント、認証プリント、プライバートプリントで使用するユーザーIDや文書名に以下のような制限があります。漢字、平仮名など日本語を使用できません。使用可能な最大文字数、文字種類は機種により異なります。使用可能な最大文字数、又は文字種類については、ご使用のプリンターのユーザーガイドをご確認ください。
- * 機種専用ドライバーが持つ、一部の機能を提供しておりません。
- * 利用可能な用紙サイズは、以下になります。
 - 定形 : A3(297x420mm), A4(210x297mm), A5(148x210mm), B4(257x364mm), B5(182x257mm), 8.5x11"(レター), 8.5x14"(リーガル), 11x17", はがき(100x148mm)
 - 非定形: 短辺(89~297mm) x 長辺(98~432mm)
- * 使用可能な用紙種類は、以下になります。
 - 本体トレイ : 普通紙
 - 手差しトレイ : 普通紙、厚紙1、厚紙1うら面、厚紙2、厚紙2うら面、ユーザー定義用紙
- * セキュリティプリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを、ハードディスクオプションを装着していないプリンターに対して行った場合、印刷実行がプリンター側でキャンセルされる場合があります。

- * 両面ユニットを装着していないプリンターに対して印刷を行った場合においても、ドライバー側では両面指定が可能であるため、このような場合は、両面指定が無視されます。
- * 紙トレイを指定した印刷で、指定したトレイがプリンターに存在しない場合は、印刷ジョブがプリンター側でキャンセルされます。
- * モノクロ機に対しては、カラー mode の指定にかかわらず、常に白黒で印刷されます。
- * ネットワークプリンターのインストールについて
[管理者として実行]よりネットワークプリンターのインストールをおこなった場合、ログインしたユーザーではなく、インストールに使用した管理者のアカウントに対して、プリンターが追加される場合があります。
- * 部数について
本ドライバーで指定可能な部数は1~999です。その範囲を超える部数がアプリケーション等から指定された場合は、1部しか印刷されない場合があります。
- * 白黒/カラー自動判別機能について
[カラー mode]に[カラー(自動判別)]を指定して印刷した場合に、印刷結果が白黒にみえてもカラーとして処理されてしまうことがあります。確実に白黒で印刷したい場合には、[カラー mode]に[白黒]を指定してください。カラー mode として処理されてしまう例として、以下のような場合があります。
 - カラーのオブジェクトの上に白黒のオブジェクトが重なっている場合
 - 印刷領域の外にカラーのオブジェクトがある場合
 - アプリケーションがシステムのICM機能を使用して色変換を行った場合
 - アプリケーションが独自の色変換機能を持っている場合
- * お気に入りについて
余白の設定のみを変更した場合、[お気に入り]コンボボックスに<変更>表示がされません。
- * アプリケーションによっては、線の属性として、線幅の細い線を選択し、かつ、点線を選択した場合、プリント時に実線として印刷されることがあります。そのような場合には、他の線幅を選択してください。
- * Corel DESIGNER
実線で描かれているオブジェクトが点線で印刷されることがあります。また、円のグラデーションに線や隙間が見えるなど、綺麗に印刷されない場合があります。

* 一太郎

正常に部単位印刷が行われない場合があります。

* Microsoft Excel

Excelでブック全体または複数のシートを印刷するときに、2シート目以降で、ダイアログで設定した通りに印刷されない場合があります。

また、ブック全体を指定して印刷するときに、各シートで両面印刷ありとなしが混在している場合、各シートで指定されている印刷情報で印刷されますので一括印刷にはなりません。

そのような場合は、以下の方法で回避できることがあります。

1. 任意のSheetの印刷ダイアログ、または、ページ設定ダイアログによって他のプリンターを選択し、その変更が有効になるように一旦その文書を閉じます。
2. 本ドライバーのデフォルト値を印刷したい設定（両面、2アップなど）に変更します。
3. 先ほどの文書を開き、印刷ダイアログで本ドライバーを選択し印刷します。

本ドライバーの[プリンタードライバーの解像度]を変更すると、文書の印刷レイアウトが変更されてしまう場合があります。

本ドライバーをインストールした後に印刷するポートを変更した場合、印刷することができないことがあります。一度ドライバーを削除した後に、使用するポートを指定してインストールし直してください。

* Microsoft Word

1ページの文書を2部以上の指定で[ポスター]印刷した場合、ソートされずに出力されてしまいます。

本ドライバーをインストールした後に印刷するポートを変更した場合、印刷することができないことがあります。一度ドライバーを削除した後に、使用するポートを指定してインストールし直してください

* アプリケーションからのカラー モードの設定について

Windows ストア アプリからカラーで印刷する場合には、Windows デスクトップから[デバイスとプリンター]を開き、お使いのプリンターを右クリックして[印刷設定]を選択した後、[印刷設定]ダイアログの[用紙/出力]タブにある[カラー モード]を、[カラー(自動判別)]になっていることを確認してください。

[印刷設定]ダイアログの[基本]タブにある[カラー モード]が[白黒]のままで、デバイスチャームからプリンターを選択した後に表示されるプリントの設定画面で[カラー モード]を[カラー]に変更しても白黒で印刷されます。

* 用紙色に対応していない機種では、用紙色指定機能を指定しても無視されます。

* 時刻指定プリントおよび認証系プリント機能に対応していない機種ではこれらの機能を使用できません。対応状況は、ご使用のプリンターのユーザーガイドをご確認ください。

* [丁合あり]と[複数部数]指定を組み合わせて印刷する場合、本体側のスプール機能を使用するため、複合機/プリンターに内蔵ハードディスクまたはRAMディスク機能が必要です。これらの設定がない場合、部数指定は無視されます。

* 手前から給紙する機種では、手差し用紙の給紙方向の指定(たて置き優先/よこ置き優先)と実際の給紙方向は逆になります。

6.ソフトウェアのアップデート

最新情報については、

<https://fujifilm.com/fb>

にてご確認ください。

Microsoft, Windows, Windows Server, Word, Excel および Visio は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

上記以外の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

libjpeg 6b

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

(C) FUJIFILM Business Innovation Corp. 2009-2025